

支部だより

さきたま支部

支部長 住佐美佐子

さきたまとは埼玉の元となった言葉でいまも埼玉県北部、県北という東京から離れた分、独特の文化が育まれています。そして絵を描くなど文化的な面が優れていて人々はそのことにプライドを持っています。そうした土地でさきたま支部は誕生し、長く中間にプランクがあり近年、大宮で支部展を開催しています。

水川神社の参道に面した水川の杜文化会館はさいたま市なる前大宮市の和の為の施設として造られた、木造二階建てで茶室や能舞台のある立派な施設です。

最近、利用者が増え抽選で当たるのが難しくなっています。あまり広くないので大勢の方を受け入れる事が出来ませんが、よい環境で地元の人々の評判も良く定着しています。

新日美の本展に出品する人に限らず、再出発の時はなるべく絵だけでなく多くの人に声をかけました。本展に大勢が出品出来る様になりたいと思っています。会場利用者団体の中ではよい評価を得ていて嬉しい事です。

出品を勧める際、地元の方でやっているという人が多く、ローカルでなく東京・上野に出しましょうよと勧めるようにしました。今のところ会場の都合でもあまり増やせないのが一寸した悩みでもあります。自宅で見るのと立派な広い会場に展示してみるのは全然違う印象です。そう言うって出品を勧めても年だからとか言われました。今、どこの支部も存続とか人数など悩みを抱え乍やっています。

トンネルのような時期をくぐり抜け支部長を引き受けて下さる方や、熱心に支えてくれる人が現れたりすると本当に良かったと思います。

さきたまも御多分に漏れず誰か縁の下で支える者がいないと続けられなくなりそうです。羽生市や行田市を中心に始めた支部は歩みはのろいが十数名の支部員は纏まって年に一度の支部展に向け頑張っています。今度の支部展は三月五日〜八日です。大宮にお出かけください。

埼玉西支部

支部長 高木 登

新しい年を力強くスタート 埼玉西支部は昨年の支部展のあと4名の新規入会者があり、今年も最初の勉強会で1名の入会者を迎え会員数22名で新年をスタートしました。

毎月原則として第2日曜日に勉強会を実施し、スケッチ会も毎月1回を勉強会とは別の日に開催しています。午前中の勉強会は約1時間を支部長が月々作成するA4サイズの会報「シンニチピン」の読み合わせをして、情報交換や本部、支部の行事関連の連絡調整をします。

その後の1時間は会員各自の持ち寄った絵画作品の合評会です。これはお昼の12時を過ぎては終わらないことが多く熱気のある作品研究会となっています。自分の作品を会員の前に出すことはそれなりに勇気のいるものですが、毎月たくさんの方が作品を出して批評しあうと自分では気がつかないでいたことを指摘されて驚くことも多くあります。他の会員からよさを指摘されれば自信になります。

制作に行き詰まりこの先をどうしたらよいか迷っている場合などその後の取り組みの方向について会員の考えを聞き、安心して取り組むことができそうです。また、他の会員の作品を見せて貰うことでたくさんの方の刺激をもらい制作意欲



制作に行き詰まりこの先をどうしたらよいか迷っている場合などその後の取り組みの方向について会員の考えを聞き、安心して取り組むことができそうです。また、他の会員の作品を見せて貰うことでたくさんの方の刺激をもらい制作意欲

を刺激されます。午後はプロモデルのデッサン会や生物写生です。昨年の例ではコスチュームデッサン5回、ヌードデッサン3回、静物2回、会員の作品についての理論研究1回を実施しました。スケッチ会は昨年11月11日開催しました。電車や車に分乗して10時に現地集合し3時半くらいまで取り組んでいます。5月には支部展、1月に小品展の「彩り展」を開催します。

新日美展には昨年7名が出品しました。本年も更なる発展をめざし会員一同努力していきたいと思っています。支部展や支部小品展の「彩り展」には各支部からたくさんの方の来場をいただきます。また感謝申し上げます。

京都支部

川井セツ子

十二月六日より十一日まで、神戸夙川のギャラリーにて第二十四回京都支部の作品展が開催されました。

来年度入会予定の方の作品も交え絵画二十八点、陶芸十二点、工芸六点のアラカルトに富んだ作品が展示され、師走に入り慌ただしさのます中、二百余名の方々にお見え頂き充実した会展を終えました。

させて頂き 又三月二十九日から四月二日まで京都文化博物館で開催されます。京都巡回展に、お一人でも多くの方々のお越しを心待ちに致しております。



スケッチ会の実施報告と次回予定 事業部 一柳 幸

2016-10-20(木)駒込六義園

ここは東京にある大名庭園として、よくまとまった風景を見せてくれる。庭園そのものを写生するのは常道だろうが、庭園を素材にして絵描きの表現したい風景を描きだすのもいい方法だ。この日10月20日ともなればそぞろ白露鶏皮の候というべきか、庭園の「緑」は秋の緑である。

画面にどの様な「緑」を置いていくかよくよく研究してみたい。

2016-11-26(土)東大三四郎池

三四郎池は以前スケッチしたことがあり、その時は夏だったのでヤブ蚊に悩まされた覚えがある。今回は晩秋の美を狙い、同時に東大正門前銀杏並木の美しさも目標にし

たい。三四郎池は紅葉、黄葉そして常緑樹と交々の美しさが絵心を誘った。しかし乍ら、地は窪地の場所だけに日光があまり当たらずまことに寒いの一語に尽きた。早々と筆を収め午後「赤門蕎麦」で画談となったのは当然であろうか。

2016-12-15(木)巢鴨とげぬき地蔵

巢鴨には有名な「とげぬき地蔵尊」として高岩寺があり、もう一つ真性寺の江戸大地蔵の大きな座像が中山道口のものとして鎮座しておわす。

本日天気晴朗のスケッチ日和だが風が冷たい。ここでのスケッチは添景人物をどう入れるかが重要なポイントかも知れない。何人かの人物を画面に入れたいものだ。北斎、広重、清親ほどの傑作にはとても及ばないがガンバロウ。筆をおいてから例によって例の如く蕎麦屋で画談に花を咲かせた次第。



次回予定

当日朝 7 時の天気予報で降水確率 50%を超える場合中止します。

○2017-1-19(木)上野動物園・上野公園

上野動物園入口前 10 時集合

○2017-2-25(土)日比谷公園

心字池あずまや 10 時集合

連絡先：一柳 幸 03-3712-9627